
令和5年度(2023年度)

外国人留学生試験要項



商学部

法学部

現代教養学部

建学の精神：公正な社会観と倫理観の涵養
教育理念：徹底した少数教育を通じて、公正な社会観と倫理観を涵養し、
実力と創造力をそなえた有能な社会人を育成する

目 次

1. 募集人員および日程、出願における注意事項	1
2. 試験当日の注意事項、Web出願	2
3. 受験票の印刷、合格発表、入学手続、学費等	3
4. 1期	5
5. 2期	6
6. 指定校	7
7. 編入学	8
8. 教育理念と3つのポリシー (本学の建学の精神、教育理念は表紙に記載)	9

共通事項

■ 募集人員および日程（国内実施）

試験区分および募集方法		募集人員			出願期間	試験日	合格発表	入学手続期間
		商学系 商学科	法学系 法学科	理工系 理工学科				
外国人留学生試験	1期	10名	若干名	若干名	11月4日(金)～11月15日(火)	11月26日(土)	12月2日(金)	12月2日(金)～12月16日(金)
	2期	5名	若干名	若干名	1月20日(金)～1月30日(月)	2月11日(土)	2月17日(金)	2月17日(金)～3月1日(水)
	指定校	若干名	若干名	若干名	11月4日(金)～11月15日(火)	11月26日(土)	12月2日(金)	12月2日(金)～12月16日(金)
	編入学	若干名	若干名	若干名	11月4日(金)～11月15日(火)	11月26日(土)	12月2日(金)	12月2日(金)～12月16日(金)

※ すべての選抜において、試験実施時期の新型コロナウイルス等の感染拡大状況によっては、ICTを活用したオンライン面接等、選抜方法を変更する場合があります。また、出願期間・試験日・合格発表・入学手続期間においても変更する場合があります。その際は、本学ホームページを通じてお知らせする予定です。

■ 入学時期

令和5年4月

■ 試験場

中央学院大学（試験はすべて本学において実施します）

所在地 〒270-1196 千葉県我孫子市久寺家 451

（連絡先）中央学院大学 入試広報課 TEL. 04-7183-6516 <直通>

交通機関 <電車の場合>

JR 常磐線、JR 成田線、東京メトロ千代田線直通「我孫子」駅下車

北口より無料スクールバスにて約7分、または徒歩約20分

（試験日当日は特別ダイヤで運行します。1週間前を目安に本学ホームページの交通案内をご確認ください。）

■ 出願における注意事項

- (1) 出願期間内にWeb出願サイトで登録を済ませ、出願書類を受付窓口に持参してください。
※Webからの出願登録および検定料の支払いは出願期間最終日15時までです。
- (2) **出願は受験生本人による窓口受付のみとなります。** 代理人による出願は認めません。
- (3) 窓口受付について（※来校の際は必ずマスクの着用をお願いします）
提出窓口：中央学院大学 入試広報課（本館2階）
受付時間：10時から16時（土曜日、日曜日、祝日は受け付けません）
- (4) 提出された出願書類や納入された入学検定料は、返還いたしません。
- (5) 出願後の学部やコースの変更は認めません。
- (6) 1期および2期では2学部まで併願することができます（3学部を併願することはできません）。

■ 試験当日の注意事項

- (1) 集合時刻・場所等の詳細については、受験票にてご確認ください。
- (2) 開門時間は集合時刻1時間前、試験室への入室は、集合時刻30分前からとします。当日の案内係に従ってください。
- (3) 我孫子駅北口より無料スクールバスを運行します。混雑が予想されますので時間には余裕を持って行動してください。運行ダイヤについては、本学ホームページにてご確認ください。
- (4) 試験場内ではマスクの着用をお願いします。
- (5) 受験票、筆記用具（HBの鉛筆等・消しゴム）を必ず持参してください。
- (6) 受験票を忘れた場合は、総合案内へ申し出てください。
- (7) 試験開始後20分まで遅刻を認めます。ただし、このための試験時間の延長は認めません。
- (8) 試験中の途中退室は原則として認めません。やむをえない場合は試験監督者の指示に従ってください。
- (9) 受験者以外は試験室へ入室できません。
- (10) 試験室内における携帯電話・スマートフォン・ウェアラブル端末等の電子機器類の使用は禁止です。
＜時計としての使用不可＞
- (11) 学生食堂の営業は行いません。各自、必要に応じて昼食の準備をしてください。

■ 受験時における宿泊先

本学では、宿泊施設等の斡旋は行っておりませんが、主な周辺宿泊施設をご案内しますので、ご参照ください。

ホテル名	最寄駅	電話番号	備考
柏プラザホテル	柏	04-7147-1111	柏駅南口徒歩1分
ザ・クレストホテル柏	柏	04-7146-1111	柏駅西口徒歩2分
ホテルマークワンアビコ	天王台	04-7186-1717	天王台駅北口徒歩1分
セントラルホテル取手	取手	0297-72-1123	取手駅東口徒歩2分

■ 出願方法(Web出願)

出願期間内であればいつでも出願は可能です（ただし、出願書類の提出締切日にはご注意ください）。

- (1) 事前準備
 - ・パソコン、スマートフォンなどインターネットにつながる環境およびプリンター
 - ・その他、必要書類の準備
 - ※ 選抜区分によって提出書類が異なります。必ず各選抜区分のページを確認してください。
- (2) Web出願サイトへアクセス
 - ・各出願期間に本学ホームページよりWeb出願サイトへアクセスしてください。
 - ※ Web出願は土日・祝日問わず24時間可能です。
 - ただし、出願期間最終日は15時までとなりますので、ご注意ください。
- (3) マイページの作成
 - ・顔写真データや個人情報など必要事項を入力し、マイページを作成します。
 - ＜顔写真データ提出の注意事項＞
 - ※ 出願3ヶ月以内に撮影したもので、正面、脱帽、背景は無地（白、青またはグレー）に限ります。
 - ※ 胸より上から頭まですべて入っている写真に限ります。
 - ※ 壁に近づきすぎると、影が濃く出て、輪郭が不明瞭になる恐れがあります。
 - ※ フラッシュを使用すると顔全体が白くなり過ぎ、陰影がなくなる場合があります。
 - ※ 個人が特定しづらいものは使用できません。
- (4) 出願する選抜方法を選択
 - ・出願期間中にマイページにログインし、選抜方法、志望学部等を登録してください。
- (5) 検定料の支払い
 - ・クレジットカード、コンビニエンスストア、ペイジーの3種類の支払い方法が選択できます。
- (6) 必要書類の印刷
 - ・マイページにログインし、『出願状況の確認』から「志願確認票」を印刷してください。
- (7) **書類を窓口にて提出**
 - ・印刷した「志願確認票」とその他必要書類をあわせて選抜区分ごとに定められた出願期間内に窓口へ提出してください。
 - ・窓口受付の詳細はP.1をご確認ください。

■ 受験票の印刷

受験票の準備が整ったら、登録したメールアドレスに通知が届きます。Web出願サイトのログイン画面へ進み、マイページ内『出願状況の確認』から受験票をダウンロードし、印刷して試験当日必ず持参してください。

■ 合格発表

インターネット

発表当日 10 時より本学ホームページからWeb出願サイトのログイン画面へ進み、マイページ内『出願状況の確認』から合否の確認ができます。なお、合否に関して電話・本学窓口等による問い合わせには一切応じることはできません。

■ 入学手続

＜ 入学手続についての注意事項 ＞ ※手続きは必ず本人が行ってください。

- ・ Web 出願サイト内『出願状況の確認』から合否を確認し、案内に従って入学手続サイトに進んでください。必ず、指定の入学手続締切日までに入学手続を完了させてください。
(本学ホームページ>Web出願サイト>入学手続サイト ※入学手続は合格者のみ確認可能)
- ・ 入学手続に関する詳細は、「入学手続の手引き」に記載します(入学手続サイトからダウンロード)。
- ・ 入学手続は「入学手続時納入金の納入」と「Webでの情報登録」、「入学手続書類の提出」により完了となります。すべての入学手続が確認でき次第、「入学許可書」をWeb上で順次発行いたします。

(1) 入学手続書類について

- ・ 入学手続締切日(郵送必着)までに、入学手続サイトから印刷した「宛名ラベル」を貼付した市販の角型2号封筒を使用し、書類を一括して速達・書留郵便で送付してください。
- ・ 手続には経費支弁に関する書類が必要になります。

(2) 入学手続時納入金について

- ・ 入学手続期間内に本学所定の振込用紙を使用し、最寄りの銀行窓口でお振込みください。

(3) 入学手続期間について

- ・ 本要項 P.1にてご確認ください。

※入学手続期間内に手続未了の者は、入学の意志がないものとみなします。

※入学手続完了後に入学を辞退する場合は、令和5年3月31日(金)＜郵送必着＞までに所定の入学辞退届および入学許可書を提出してください。入学金を除くすべての納入金(授業料・施設設備費・代理徴収金)を返還いたします(指定校の場合、原則として代理徴収金のみを返還となります)。

■ 学費等納入金

＜初年度納入金＞

(単位:円)

		新入生	2年次編入生	3年次編入生
入学金*		300,000	300,000	300,000
授業料		490,000	490,000	490,000
施設設備費		300,000	300,000	300,000
小計		1,090,000	1,090,000	1,090,000
代理徴収金	学生会費	入会金*	500	500
		年会費	3,000	3,000
	後援会費	入会金*	15,000	15,000
		年会費	15,000	15,000
	学友会費	10,000	20,000	30,000
	学生教育研究災害傷害保険料*	3,300	2,600	1,750
学研災付帯賠償責任保険料*	1,360	1,020	680	
小計		48,160	57,120	65,930
合計		1,138,160	1,147,120	1,155,930

※表中の*印は初年度のみ納入金です。

※上記の授業料は30%減免適用後の金額です(授業料年額700,000円⇒490,000円)。

※授業料減免は、学業・人物とも優れている留学生で経済的援助が必要な者に対して行います。

<学費等納入時期について>

学費等納入金の納入時期は下記のとおり年4回です。

	新入生	2年次編入生	3年次編入生	内訳
入学時	348,160円	357,120円	365,930円	入学金・代理徴収金
4月	300,000円	300,000円	300,000円	施設設備費
8月	350,000円	350,000円	350,000円	前期授業料
12月	140,000円	140,000円	140,000円	後期授業料
合計	1,138,160円	1,147,120円	1,155,930円	初年度納入金

■ 外国人留学生奨学金制度

<本学独自の奨学金制度>

名称	対象	支給額	
私費外国人留学生 特待生・奨学生制度	私費外国人留学生で入学試験の成績が著しく優れている者（新入生）	入学金および授業料年額に相当する金額	
	私費外国人留学生で入学試験の成績が優れている者（新入生）	授業料年額の50%に相当する金額	
	私費外国人留学生で前年度の学業成績が優れている者（2～4年生）		年額 250,000円
			年額 200,000円
			年額 150,000円
		年額 100,000円	
		年額 50,000円	

<その他の奨学金制度>

名称	対象	支給額
(財)小貫基金	私費外国人留学生で成績・人物共に優秀な者	月額 30,000円
(公益信託)蓮見留学生育英奨学金基金	私費外国人留学生で成績・人物共に優秀な者	月額 40,000円
(財)ロータリー米山記念奨学会	私費外国人留学生で成績・人物共に優秀な者	月額 100,000円

なお、採用実績のある奨学金制度としては、(公財)平和中島財団奨学金、(財)朝鮮奨学会等があります。

■ 個人情報の取扱い

出願を通じて収集した住所・氏名等の個人情報は厳重に管理し、入学に関する資料の送付や統計的集計および日本語教育施設等への確認に利用いたします。

1 期

1. 出願資格

次の①または②に該当する者。

- ① 外国において、学校教育における12年の課程を修了した者、および令和5年3月31日までに修了見込みの者。またはこれに準ずる者で文部科学大臣の指定した者。
- ② 上記①と同等以上の学力があると本学が認めた者で、18歳に達した者。

2. 出願要件

次の①および②を満たす者。

- ① 外国籍を有し、本学学生として在留資格『留学』を取得または更新できる者。
- ② 日本留学試験（日本語）、または日本語能力試験（N1）を受験した者。
※日本語能力試験は、令和4年12月4日（日）受験予定者を含む。

3. 出願書類および入学検定料 ※証明書類は原本を提出・提示すること(コピー不要)。

1	志願確認票	本学ホームページからWeb出願サイトで登録後、提出書類を印刷。
2	出願確認シート	本学ホームページから書式をダウンロードして記入。
3	出身学校の「卒業証明書」 または「卒業見込証明書」	・ 外国語のものは、日本語訳を提出（書式自由、A4サイズ）。 ・ 卒業証明書の代わりに「卒業証書」を提示することも可能。 ・ 卒業見込証明書を提出した場合、後日卒業証明書の提出が必要。
4	出身学校の「成績証明書」	外国語のものは、日本語訳を提出（書式自由、A4サイズ）。
5	日本語教育施設等（日本語学校、大学別科等）の「出席・成績証明書」	・ 出席証明書は授業時数で記載されているものを提出。 ・ 日本語教育施設の既卒者は、現在在学している学校の「出席・成績証明書」を提出。
6	住民票	3ヶ月以内に発行されたもので、在留資格および在留期間等が明記されているもの。
7	在留カード（原本提示）	
8	パスポート（原本提示）	
9	国民健康保険証等（原本提示）	社会保険加入者のみ。
10	「日本留学試験成績に関する証明書」または「日本語能力試験認定結果及び成績に関する証明書」	・ 「成績通知書」または「成績確認書」を提示することも可能。 ・ 出願時に成績が出ていない場合は、「受験票」を提示。 ・ 12月4日の日本語能力試験（N1）受験予定者で、出願時に「受験票」が届いていない場合は、「受験料の納付書」（原本）を提示。
11	入学検定料	35,000円（2学部を併願する場合は45,000円）

※在留カード等、原本を提示する書類については本学にて必要部分をコピーします。

4. 選抜方法

「日本語」、「面接審査」および「書類審査」を総合評価して合否判定を行います。

5. 試験時間割

試験日	集合時刻	日本語	面接
11月26日（土）	9:45 ※	10:00~11:00	11:30~

※志願者数に応じて集合時刻を変更する場合があります。必ず受験票にてご確認ください。

2 期 *日本留学試験利用選抜

1. 出願資格

次の①または②に該当する者。

- ① 外国において、学校教育における12年の課程を修了した者、および令和5年3月31日までに修了見込みの者。またはこれに準ずる者で文部科学大臣の指定した者。
- ② 上記①と同等以上の学力があると本学が認めた者で、18歳に達した者。

2. 出願要件

次の①および②を満たす者。

- ① 外国籍を有し、本学学生として在留資格『留学』を取得または更新できる者。
- ② 日本留学試験（日本語）を受験した者。

3. 出願書類および入学検定料 ※証明書類は原本を提出・提示すること(コピー不要)。

1	志願確認票	本学ホームページからWeb出願サイトで登録後、提出書類を印刷。
2	出願確認シート	本学ホームページから書式をダウンロードして記入。
3	出身学校の「卒業証明書」 または「卒業見込証明書」	・ 外国語のものは、日本語訳を提出（書式自由、A4サイズ）。 ・ 卒業証明書の代わりに「卒業証書」を提示することも可能。 ・ 卒業見込証明書を提出した場合、後日卒業証明書の提出が必要。
4	出身学校の「成績証明書」	外国語のものは、日本語訳を提出（書式自由、A4サイズ）。
5	日本語教育施設等（日本語学校、大学別科等）の「出席・成績証明書」	・ 出席証明書は授業時数で記載されているものを提出。 ・ 日本語教育施設の既卒者は、現在在学している学校の「出席・成績証明書」を提出。
6	住民票	3ヶ月以内に発行されたもので、在留資格および在留期間等が明記されているもの。
7	在留カード（原本提示）	
8	パスポート（原本提示）	
9	国民健康保険証等（原本提示）	社会保険加入者のみ。
10	「日本留学試験成績に関する証明書」	「成績通知書」または「成績確認書」を提示することも可能。
11	入学検定料	35,000円（2学部を併願する場合は45,000円）

※在留カード等、原本を提示する書類については本学にて必要部分をコピーします。

4. 選抜方法

「面接審査」および「書類審査」を総合評価して合否判定を行います。

5. 試験時間割

試験日	集合時刻	面接
2月11日（土）	9:45 ※	10:00～

※志願者数に応じて集合時刻を変更する場合があります。必ず受験票にてご確認ください。

指 定 校 【 専 願 】

1. 出願資格

外国において学校教育における12年の課程を修了した者。またはこれに準ずる者で文部科学大臣の指定した者。

2. 出願要件

各指定校に個別通知

3. 出願書類および入学検定料 ※証明書類は原本を提出・提示すること(コピー不要)。

1	志願確認票	本学ホームページからWeb出願サイトで登録後、提出書類を印刷。
2	出願確認シート	本学ホームページから書式をダウンロードして記入。
3	出身学校の「卒業証明書」	・外国語のものは、日本語訳を提出(書式自由、A4サイズ)。 ・卒業証明書の代わりに「卒業証書」を提示することも可能。
4	出身学校の「成績証明書」	外国語のものは、日本語訳を提出(書式自由、A4サイズ)。
5	指定校の「出席・成績証明書」	・出席証明書は授業時数で記載されているものを提出。
6	学校長の推薦書	指定校専用。
7	住民票	3ヶ月以内に発行されたもので、在留資格および在留期間等が明記されているもの。
8	在留カード(原本提示)	
9	パスポート(原本提示)	
10	国民健康保険証等(原本提示)	社会保険加入者のみ。
11	「日本留学試験成績に関する証明書」または「日本語能力試験認定結果及び成績に関する証明書」	「成績通知書」または「成績確認書」を提示することも可能。
12	入学検定料	35,000円

※在留カード等、原本を提示する書類については本学にて必要部分をコピーします。

4. 選抜方法

「日本語」、「面接審査」および「書類審査」を総合評価して合否判定を行います。

5. 試験時間割

試験日	集合時刻	日本語	面接
11月26日(土)	9:45 ※	10:00~11:00	11:30~

※志願者数に応じて集合時刻を変更する場合があります。必ず受験票にてご確認ください。

編 入 学

1. 出願資格

次のいずれかに該当する者。

- ① 大学を卒業した者および2年次修了（見込み）の者（外国の場合は出願時に確認します）。
- ② 短期大学を卒業した者および令和5年3月卒業見込みの者（外国の場合は出願時に確認します）。
- ③ 日本の専修学校専門課程を修了した者および令和5年3月修了見込みの者。
（修業年限が2年以上であり、課程の修了に必要な総授業時数が1,700時間以上であること）
※上記に該当する者は、課程が該当することを証明できる証明書も併せて提出してください。
- ④ 上記①～③と同等以上の学力があると本学が認めた者。

2. 出願要件

次の①および②を満たす者。

- ① 外国籍を有し、本学学生として在留資格『留学』を取得または更新できる者。
- ② 日本留学試験（日本語）、または日本語能力試験（N1）を受験した者。
※日本語能力試験は、令和4年12月4日（日）受験予定者を含む。

3. 出願書類および入学検定料 ※証明書類は原本を提出・提示すること(コピー不要)。

1	志願確認票	本学ホームページからWeb出願サイトで登録後、提出書類を印刷。
2	出願確認シート	本学ホームページから書式をダウンロードして記入。
3	大学・短期大学・専修学校専門課程の「卒業証明書」または「卒業見込証明書」	<ul style="list-style-type: none"> ・外国語のものは、日本語訳を提出（書式自由、A4サイズ）。 ・卒業証明書の代わりに「卒業証書」を提示することも可能。 ・複数の学校を卒業（修了）した場合は全て提出。 ・大学2年次修了（見込み）の者は「修了（見込み）証明書」を提出。 ・卒業見込証明書を提出した場合、後日卒業証明書の提出が必要。
4	大学・短期大学・専修学校専門課程の「成績証明書」	<p>※単位数および履修時間数が記載されていないものは受付できません。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・外国語のものは、日本語訳を提出（書式自由、A4サイズ）。 ・複数の学校の単位を認定されている場合は全て提出。 ・在学中の場合は当該年度の履修内容がわかる書類（履修証明書等）を提出。 ・出願時に日本語教育施設等に在学中の者は、日本語教育施設等の「出席・成績証明書」（授業時数で記載されているもの）も併せて提出。
5	住民票	3ヶ月以内に発行されたもので、在留資格および在留期間等が明記されているもの。
6	在留カード（原本提示）	
7	パスポート（原本提示）	
8	国民健康保険証等（原本提示）	社会保険加入者のみ。
9	「日本留学試験成績に関する証明書」または「日本語能力試験認定結果及び成績に関する証明書」	<ul style="list-style-type: none"> ・「成績通知書」または「成績確認書」を提示することも可能。 ・出願時に成績が出ていない場合は、「受験票」を提示。 ・12月4日の日本語能力試験（N1）受験予定者で、出願時に「受験票」が届いていない場合は、「受験料の納付書」（原本）を提示。
10	入学検定料	35,000円

※在留カード等、原本を提示する書類については本学にて必要部分をコピーします。

4. 選抜方法

「日本語」、「面接審査」および「書類審査」を総合評価して合否判定を行います。

5. 試験時間割

試験日	集合時刻	日本語	面接
11月26日（土）	9:45 ※	10:00～11:00	11:30～

※志願者数に応じて集合時刻を変更する場合があります。必ず受験票にてご確認ください。

商学部商学科の教育理念と3つのポリシー

教育理念

公正な社会観と倫理観の涵養をめざし、徹底した少数教育を通じて実力と創造力をそなえた有能な社会人を育成することを目的とする。

本学は、単なる知識の伝達ではなく、人間を基調とした全人格の形成を求め「公正な社会観と倫理観の涵養をめざし、徹底した少数教育を通じて実力と創造力をそなえた有能な社会人の育成」を目的としています。時代が大きく変わろうとしている今、社会も、そして大学自体も変わっていかなくてはなりません。そのような状況のもと、教育理念という普遍的なテーマをベースに、高度に多様化していく時代に対応すべく、より具体的に進化した教育プログラムを構築し、学生の個性や可能性を大きく伸ばしていくことを教育の原点としています。

ディプロマ・ポリシー（学位授与の方針）

中央学院大学商学部は、大学建学の精神である「公正な社会観と倫理観の涵養」を根幹とし、「実力と創造力をそなえた有能な社会人の育成」という学部の教育理念に基づき、教養教育と商学の専門教育を通して、社会において活躍できる有為な人材の育成を目指しています。本学に定める期間在籍して、以下の1～3の力を習得し、すべての「必修科目」を含めて126単位以上修得した学生に、学士（商学）の学位を授与します。

1. 人文・自然・社会科学、語学など幅広い教養
文化・社会・自然を幅広く理解し、異文化を深く理解するとともに、普遍的に求められる公正な倫理観を身につける。
2. 商学・経済学・経営学・会計学など専門知識
商学の専門知識および商学に関する理論的・実証的研究成果の基礎を修得するとともに、ビジネスに携わるうえで必須の専門的な数量的スキルや情報リテラシーを身につける。
3. 幅広い教養と専門的知識に基づいた判断力で社会に貢献しようとする姿勢
幅広い教養と専門的知識を基に、理論的思考力、課題解決力、コミュニケーションスキルを高め、社会の一員としての責任を果たし社会に貢献しようとする姿勢を身につける。

カリキュラム・ポリシー（教育課程編成・実施の方針）

教育課程編成・教育内容

中央学院大学商学部は、ディプロマ・ポリシーに基づいて以下のように教育課程の編成をおこないます。

1. 人文・自然系科目を通じて、文化・社会・自然を幅広く理解し、異文化に対する理解を深め、倫理観を醸成できるような教育の編成をおこないます。
2. 日本語科目、外国語、体育科目を必修科目とすることにより、コミュニケーションスキルを高め、積極的に他者や異文化を理解しようとする姿勢を身につけられるような教育の編成をおこないます。
3. ゼミナール教育等を通じて、自ら課題に取り組む姿勢を身につけ、就業意欲を高めるとともに、社会に貢献できる力を修得させる取り組みをおこなうための教育の編成をおこないます。
4. 情報関連科目を必修科目とすることによりビジネスに不可欠の情報リテラシーを身につけられるようにし、商学系列共通選択科目の履修を通じて、商学の専門知識及び商学に関する理論的・実証的研究成果の基礎を修得できる教育の編成をおこないます。
5. 下記の7コースの履修を通じて、卒業後の希望進路に応じた知識・能力を修得できるようにするためコース毎に体系的で段階的な科目配置をおこなっています。
 1. 商学総合コースは、オールラウンドなビジネスパーソンとして幅広いフィールドで活用できる、商学・経済・経営・会計の分野を横断する知識を修得できる教育課程を編成します。
 2. 経営コースは、企業経営の専門家に必要な、経営者・企業管理者として必要なスキルを修得できる教育課程を編成します。
 3. 国際ビジネスコースは、グローバル・ビジネスの専門家に必要な、国際的な企業情報や商取引の知識を習得できる教育課程を編成します。
 4. 会計コースは、財務の専門家に必要な、簿記会計や法人税務の知識を修得できる教育課程を編成します。
 5. 経済コースは、企業経営、財政、経済政策など、企業の即戦力となるために必要な経済学の知識をその基礎から修得できる教育課程を編成します。
 6. 情報コースは、情報管理の専門家に必要な、ビジネス界で求められるIT技術とその活用法を修得できる教育課程を編成します。
 7. スポーツキャリアコースは、スポーツに関わる様々なフィールドで活躍できる人材に必要な、商学・スポーツ学に関する知識を修得できる教育課程を編成します。
6. 卒業後教員を希望する者に対応して、主として商学に関連する各種の教育職員免許状を取得できる授業科目を編成しています。

教育方法・学習成果の評価

セメスター制度のもと、1・2年次は、必修科目である基礎教育科目と外国語科目、保健体育科目を中心に構成されています。基礎教育科目は、商学部での学びをより充実させるために必要な技能や知識の修得のために設置されています。また自ら学習計画を立て、主体的な学びが実践できるようにする観点から、1年次に、初年次導入教育の役割を担う「プロゼミナール」を必修科目として設けています。「演習」科目は、2年次から4年次まで設けて専門的な分野の修学を行います。商学に関連する資格取得の目的を目指す学生は、アクティブ・センター（生涯学習センター）で資格取得講座を履修することができます。講座によっては商学部の単位が認定されますし、資格を取得することによって受講料の優待・特待制度を設けています。

セメスター制は、4月開講の前期の春セメスター、10月開講の後期の秋セメスターからなります。授業は一回90分で、15回の授業の後、定期試験を実施し、学習成果を評価していますが、教科によっては、レポートの出来ばえあるいは体育関係科目のように毎回の授業内で評価する科目もあります。いずれも学習成果の評価は、厳正に行っています。

アドミッション・ポリシー（入学者受入れの方針）

1. 求める入学者像

商学部は、建学の精神である「公正な社会観と倫理観の涵養」の理念の下、学部の教育理念である「実力と創造力をそなえた有能な社会人の育成」を目指します。このような有能な社会人を育成するために、次のような入学者を求めます。

1. 高等学校までの学修により、人文、自然、社会、言語、スポーツなど幅広い分野・領域に関心があり、それらをより深く理解したいという意欲がある。
2. 商学・経済学・経営学・会計学などに関心があり、それらの専門知識を修得したいという意欲がある。
3. 幅広い教養と商学などの専門知識を身につけ、それらを基に身近な地域から世界まで広く社会に貢献したいと考えている。
4. 幅広い教養と商学などの専門知識を身につけるために必要な「学力の3要素」（「知識・技能」、「思考力・判断力・表現力」、「主体性を持って多様な人々と協働して学ぶ態度」）の基礎を有している。

2. 入学者選抜の基本方針

商学部では、「求める入学者像」に合致する入学者を選抜するために、次の入学者選抜を実施します。

1. 総合型選抜：書類審査、面接などを中心とする選抜。
2. 学校推薦型選抜：書類審査、面接、小論文などを中心とする選抜。
3. 一般選抜：大学独自の学力試験、大学入学共通テストなどを中心とする選抜。

法学部法学科の教育理念と3つのポリシー

教育理念

人権感覚の育成と共生意識の確立とをめざし、専門教育と人間教育のバランスのとれた全人教育を施すことにより、法的素養と良識とを備えた有能な社会人を育成することを目的とする。

ディプロマ・ポリシー（学位授与の方針）

法学部とは、法や政治・行政に関する専門的・体系的な研究・教育を通じて現代社会への理解を深めること、および、その学習成果を活かして社会の様々な分野で活躍できる人材を育成することを目的とする学部です。

1. 本学部における人材育成方針

現代社会は、日々複雑化・高度化し、またグローバル化と相まって価値観の多様化も進み、従来の社会であれば通用していた慣習、常識および合意に基づく社会運営が限界を示してきています。こうした中で、社会共通のルールとしての法はより重要性を増しています。しかし、法の機能を過信し、人間を正面から見つめようとしなければそれは本末転倒であり、他者に対する共感や理解、現代社会成立の経緯や実情を踏まえて法を見つめる、バランス感覚を備えた人材こそが求められています。

本学部は、本学建学の精神である「公正な社会観と倫理観の涵養」および法学部の教育理念である「人権感覚の育成と共生意識の確立」を踏まえ、教養教育と専門教育を融合させた全人教育を実践することにより、上記のような人材の育成に努めています。

2. 卒業時に期待される能力

上で述べた目的および方針に照らし、本学部を卒業する際に学生に期待される能力は以下の通りです。

- (1) 法学部の専門科目（法学系科目、政治学・行政学系科目）および各コース独自の科目に関する基本的かつ体系的な知識
- (2) 幅広い教養やコミュニケーション・スキル、数量的スキル、情報リテラシー、自己管理能力、論理的思考力、問題対応力など、生活のあらゆる場面で必要とされる能力
- (3) チームワーク、リーダーシップ、倫理観、市民としての社会的責任、生涯学習への関心・理解など社会の一員としての態度・指向性
- (4) 新たな課題を発見し、それを解決する能力

よって、成績評価・卒業判定は、これらをバランスよく身につけたか否かを考慮しつつ行うこととなります。

3. 卒業要件

編入学などの例外的な場合を除いて、本学部に4年間以上在籍し、所属するコースの卒業所要単位表に従って127単位以上を修得することにより卒業が認定され、学士（法学）の学位が授与されます。

カリキュラム・ポリシー（教育課程編成・実施の方針）

本学部は、本学の建学の精神と法学部の教育理念を融和させ、それらを実際の教育に反映すべく、専門科目（法学系科目、政治学・行政学系科目）、教養系科目、外国語科目、日本語科目、情報処理科目、体育系科目などからなるカリキュラムを編成しています。その中核となるのは、法学系科目と政治学・行政学系科目、そして各コースの必修科目・選択必修科目です。

1. 公務員養成の重視

本学部では、学部設置以来、有能な公務員（警察官・消防官・自治体職員・教員など）の養成を学部全体の方針としており、公務員養成のための専門科目やその他の関連講座を開講しています。

2. 多様なコース教育

その一方で、学生の多様な学習ニーズに応えるとともに、公務員に限らず多様な人材を社会に輩出できるようにするため、本学部は次のような5つのコースを用意しています。

- (1) 司法コース
- (2) 行政コース
- (3) ビジネスキャリアコース
- (4) フィールドスタディーズコース
- (5) スポーツシステムコース

各コースは、法学部の基本的コンセプトと本学部の教育理念を共有した上で、それぞれ独自に、卒業後にふさわしい進路やそのための教育方針・教育体系を持ち（詳しい内容は大学案内等でご案内しております）、法学系科目や政治学・行政学系科目と各コース独自の必修科目・選択必修科目を組み合わせた特色あるカリキュラムを展開しています。

3. コースへの帰属

本学部の学生は、入学時から上記5コースのうちのいずれかに所属し、そのコースのカリキュラムに沿って学びます。途中で所属コースを変更する余地はありますが、基本的には入学時に選択したコースで卒業まで学ぶことにより、社会に貢献できる人材として必要な知識・能力を身につけていきます。

4. 初年次教育への取り組み

本学部では、公務員養成と多様なコース教育の出発点として、初年次教育を重視しています。

公務員養成の出発点としては、1年生を主な対象とする「公務員特別演習Ⅰ」を開設し、警察官等の公務員を希望する新入生のモチベーションを入学当初から高めるとともに、将来公務員となるために必要な能力の育成に努めています。

他方、多様なコース教育の出発点として、各コースの1年次必修科目として演習科目が開設されています（司法コース「基礎演習Ⅰ」・行政コース「基礎演習Ⅰ」・ビジネスキャリアコース「ビジネス法基礎演習Ⅰ」・フィールドスタディーズコース「調査・表現法基礎演習Ⅰ」・スポーツシステムコース「スポーツ学演習Ⅰ」）。これらの演習では、各コースの教育方針を反映して、図書館の使い方やレポートの書き方、プレゼンテーションやディベートの仕方などを学ぶとともに、他大学との合同合宿や現地視察、学外イベントの企画運営などを通じて、これから大学で学んでいく際に必要となるスキルや考え方を学ぶ機会を新入生に提供しています。また、演習の時間を利用して就職への意識付けのための自己分析を行うなど、就職支援行事との連携も図っています。

アドミッション・ポリシー（入学者受入れの方針）

本学部では、本学の建学の精神や本学部の教育理念を理解し、それらを体現しようと努めることのできる学生を求めます。

1. 明確な目的意識

本学部では、本学部のディプロマ・ポリシーおよびカリキュラム・ポリシーを理解し、4年間の在学中に法や政治・行政に関する知識・能力、および各コースが個別に目標とする知識・能力を身につけ、社会に貢献できる人材を目指す、目的意識の高い学生を求めます。

2. 入学者選抜方法に対応した基礎的能力

本学部では、本学で実施しているそれぞれの入学者選抜方法に対応した基礎的能力（基本的なコミュニケーション力、論理的思考力、記述力、高校までの学習事項に関する基礎知識や応用力など）を備えた学生を求めます。

現代教養学部現代教養学科の教育理念と3つのポリシー

教育理念

公正な社会観と倫理観をそなえた自立した個人の育成をめざし、現代を生き抜くための教養教育を通じて、地域や社会、政治や経済との関わりの中にある自己を深く知り社会参画や社会貢献ができる市民を育成することを目的とする。

ディプロマ・ポリシー（学位授与の方針）

1. 現代社会の基底をなす多様な人間文化や異文化に対する理解を深めることによって、幅広い教養を修得し、「公正な社会観と倫理観」を身に付けている。
2. 社会における市民としての役割を認識したうえで、社会参画や社会貢献のための問題解決能力やジェネラリストとしての能力を身に付けている。
3. 現代社会をその歴史的・思想的な背景からより深く理解したうえで、激動する時代の変化に対応し、他者と協調・協働して社会を改善していく力を身に付けている。

カリキュラム・ポリシー（教育課程編成・実施の方針）

1. 「公正な社会観と倫理観」を身に付けるために、「現代社会と人間文化系」、「異文化とコミュニケーション系」という2系列4科目群からなる教育課程を編成し、幅広い教養を修得できる教育を行う。
2. ゼミナール教育等において問題解決型の実践的教育を導入し、社会における市民としての役割を認識し、自ら積極的に問題へと立ち向かう姿勢を身に付けられるような取り組みを行う。
3. 専門教育を中心に身近な地域と積極的に関わる能力を高め、グローバルな視点から現代社会をとらえる能力を身に付けられるようにするとともに、他者と協調協働できるコミュニケーション能力を身に付けられるような取り組みを行う。

アドミッション・ポリシー（入学者受入れの方針）

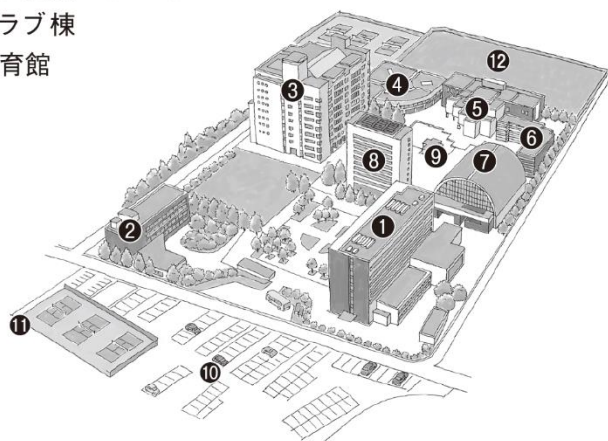
現代教養学部は、「公正な社会観と倫理観」をそなえた自立した個人が自己を深く知り、社会参画や社会貢献ができる市民を養成するという教育の目標を置いている。ディプロマ・ポリシー（学位授与の方針）にのっとり、次のような意欲、能力をもった者を受け入れることを入学者受入れの基本方針とする。

1. 「公正な社会観と倫理観の涵養」という本学の建学の精神を理解している。
2. 一人の市民としてどのような仕事にも通じる幅広い教養を身に付けたいという意欲、生涯を貫く豊かな教養を身に付けたいという意思をもっている。
3. 現代社会における国内外の日々の出来事に関心を持ち、マスメディアの報道などを通じて時事問題等に興味をもっている。

ACCESS MAP



- ① 本館
- ② 図書館
- ③ 6号館
- ④ 5号館
- ⑤ 学生会館 Via
- ⑥ クラブ棟
- ⑦ 体育館
- ⑧ 研究棟
- ⑨ センター広場
- ⑩ 駐車場
- ⑪ テニスコート
- ⑫ C Ground



* 交通アクセスやスクールバス時刻表は本学ホームページ『交通アクセス』にてご確認ください。



〒270-1196
 千葉県我孫子市久寺家 451
 TEL 04-7183-6516 [入試広報課直通]